

テーマ 海の生き物

テーマの設定理由

毎日過ごしているのは、山に囲まれた環境であり、普段から生き物に対しての興味、関心を持っていた。5月の親子遠足で、新江ノ島水族館へ行くことになっていたため、子どもたちにどのような生き物が水族館に居るか聞いてみたところ海の生き物にも興味を示し、図鑑を見たり調べてみようとして子どもたちなりに興味が湧いたようだった。

活動の流れ

5月 初旬 親子遠足に行くため、どのような生き物が水族館に居るのか知る。

5月 16日 親子遠足で実際に見学、観察。

5月 30日 水族館で見てきた海の様子を絵画教室で、再現、制作活動を楽しむ。

10月 8日 食育教室で魚の解体を行い、魚の内部や、体の作り、生臭さなどを間近に体感する。

準備したもの

図鑑、牛乳パック、絵具、画用紙、筆、筆洗バケツ、パレット、魚、バット

ふりかえり

子どもたちの海の生き物に対する興味関心が高まった。海には魚以外の貝やサンゴなどいろいろな生き物がいるという気付きから、動物や恐竜などの関心、その生き物の特徴を知ろうとしたり、友だち同士で知ったことを伝えあう姿がみられ、「知る楽しさ」を子どもたちが感じながら取り組むことができた。

活動内容

- ・水族館で何が見れるのか、何を見てみたいのか意見を出し合った。
- ・親子で水族館をめぐり、どのような生き物がいたか、水族館の様子はどうか実際に見て、観察し、振り返った。
- ・実際に見てきた海の生き物をクレヨンで描き、表現した。
- ・講師による絵画教室にて、絵具を使って「海の絵」を描いた。
- ・魚を食べるためには、どのように切ったり、内臓を取るのかなど実際に見て、「命をいただく」ということを知った。

活動中の子どもの姿



活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり
親子遠足で何を見てみたい？と尋ねると「クラゲ」「イルカ」「カメ」「ネコザメ」などいろいろな生き物に興味を持っていた。

見てきた生き物を図鑑で「これいたね」と話したり、「ネコザメはザラザラしていたよ」など体験や知ったことを伝え合う姿がみられた。

絵画教室では、岩場に何がいるか、どんな生き物がいるか水族館で見たものを思いだして、貝やサンゴなどにも着目していた。

海の生き物からその他の生き物にも興味がひろがっていった。